

書籍「建築設備システム診断要領（改訂版）」の発行について

1. 事業の概要

平成 26 年に出版した「建築設備システム診断要領」について、社会情勢の変化や技術の進歩を踏まえ、社会的劣化の項目を充実させかつ、書籍のスリム化による使い易さの向上を図った改訂を行った。

出版日：令和 3 年 3 月 1 日

価 格：24,200 円（税込み）

2. 目次

- 第 1 章 建築設備の診断
- 第 2 章 建築設備のシステムとしての診断
- 第 3 章 建築設備システムの診断の手順
- 第 4 章 建築設備分野別の劣化判定基準表と劣化評価集計表
- 第 5 章 診断補助ソフト（CD-ROM 付）

* 詳細な目次は次ページ参照



3. 出版後のセミナーの開催予定

上記書籍をテキストとしたセミナーを令和 3 年度に開催する予定。

目次

発刊にあたって

はじめに

第1章 建築設備の診断 1

- 1.1 建築物の長期使用と建築設備の修繕・更新・改修 3
- 1.2 建築設備の診断 3
 - 1.2.1 診断の必要性と意義 3
 - 1.2.2 診断の目的 4
 - 1.2.3 診断の役割 5
 - 1.2.4 診断の時期 5

第2章 建築設備のシステムとしての診断 7

- 2.1 建築設備のシステムとしての診断の必要性 9
 - 2.2 建築設備システムの診断の単位と対象 9
 - 2.2.1 建築設備システムの診断の単位 9
 - 2.2.2 建築設備システムの診断の階層構造 10
 - 2.3 建築設備システムの劣化評価の観点 10
 - 2.4 建築設備システムの階層構造に応じた劣化評価 13
 - 2.4.1 機器等の劣化評価の観点にかかる劣化判定 13
 - 2.4.2 機器等、サブシステム、診断対象設備システムの劣化評価点 13
 - 2.4.3 診断対象設備システムの劣化評価 15
 - 2.5 建築設備診断技術者による建築設備システムの診断 17
- 参考1 建築設備システムの診断業務 17
- 参考2 補助ソフトによる劣化評価率の自動計算等 17

第3章 建築設備システムの診断の手順 19

- 3.1 建築設備システムの診断手順の全体フロー 21
- 3.2 予備調査 21
 - 3.2.1 予備調査の手順 21
 - 3.2.2 予備調査シート 22
 - 3.2.3 共通予備調査シートの記入要領 22
 - 3.2.4 設備別予備調査シートの記入要領 23

3.3	診断計画の策定	24
3.3.1	診断計画の策定の手順	24
3.3.2	診断計画書の構成	24
3.3.3	診断計画書の作成要領	25
3.4	建築設備システムの劣化評価	26
3.4.1	電気設備分野の劣化評価	26
3.4.2	空気調和・換気設備分野の劣化評価	33
3.4.3	給排水衛生設備分野の劣化評価	38
3.5	劣化評価に応じた対応措置の検討	41
3.6	診断報告書の作成	42
3.6.1	診断報告書の構成	42
3.6.2	診断報告書の作成要領	43

第4章 建築設備分野別の劣化判定基準表と劣化評価集計表

		47
4.1	電気設備分野の劣化基準表と劣化評価集計表	49
4.2	空気調和・換気設備分野の劣化基準表と劣化評価集計表	211
4.3	給排水衛生設備分野の劣化基準表と劣化評価集計表	317

第5章 診断補助ソフト

5.1	診断補助ソフトの機能と構成	437
5.2	データ入力	440
5.3	出力	446
5.4	診断補助ソフトの応用	447

<参考資料>

①	予備調査シートの様式	449
②	診断計画書の様式	483
③	診断報告書の様式	497